

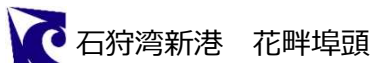
開催趣旨

次世代を担う学生に、現場の見学を通じて物流の「今」を体感してもらうことで、物流と地域産業に対する興味・関心の醸成と、物流産業の重要性や社会的役割の周知を図り、将来の物流人材の確保に繋げることを目的として実施しました。

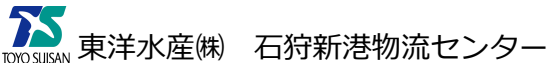
概要

実施日：令和7年10月24日（金）
対 象：北海道札幌国際情報高等学校
グローバルビジネス科1年生107名
内 容：物流施設見学と物流事業者等による講義の受講
共 催：北海道運輸局、（一社）札幌地区トラック協会、北海道

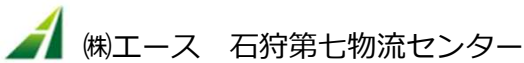
施設見学



普段立ち入ることのできないエリアから、巨大ガントリークレーンによるダイナミックなコンテナ積卸し作業を見学。



冷蔵倉庫に関する説明を受けた後、北海道最大級の大型冷蔵倉庫内で、日常生活で身近な食品が厳重な温度管理のもと保管されている様子を見学。



無人フォークリフトや電動パレットトラックにより自動化された物流センターを見学し、大型トラック運転席に乗車体験。

講義

- 株式会社杉本運輸 代表取締役 杉本 憲昭氏
「物流のやりがいと未来」
- 丸吉ロジ株式会社 代表取締役 吉谷 隆昭氏
「オンリーワンの鉄の物流会社を目指して～強みの見つけ方と生かし方～」
- 北海道総合政策部交通政策局 交通企画課物流企画担当課長 松田 雅宏氏
「身近な物流課題と私たちにできること」
- 富良野通運株式会社 代表取締役 永吉 大介氏
「海へ乗りゆく人々～国際物流の現場から～」

学生の感想

・物流体験の前は、ただトラックが物を運んでいるだけだと思っていたけど、実際は船、工場、倉庫など、様々な場所と、そこで働くたくさんの人が関わっていると分かった。多くの努力やチームワークが、私たちの生活を支えてくれていると感じた。

・講義と実際に見たものがつながるような時間でとてもイメージしやすかった。

・災害などで物の流れが止まってしまったら被害地だけでなく全国に被害が出るので日常生活に感謝して生きていこうと思います。

・会社を経営している方のお話を聞くとチャレンジすることが大切だったり、自信をもつことが重要だということなどたくさんの発見がありました。今まではトラックなどには全く興味がなかったけど、「やりがいをもって仕事している」とか「楽しい仕事なんです」など実際に働いている人と話ができて少し興味をもつことができました。



ガントリークレーン見学



業務に関する説明を受ける様子



電動パレットトラック見学

総括

- ・参加した学生のうち21名から「就職先として興味を持った」旨の感想があり、将来の物流人材の確保に繋がる、有意義な内容で開催できたものと考えます。
- ・北海道運輸局では人材確保に向けた取組として、今後もこのような体験会を継続してまいります。